

大屋中だより

令和2年度
第2号
令和2年
5月14日

教職員・生徒共通実践目標

時を守り

場を清め

礼を正す

大型連休明けの五月七日には、学校に久しぶりに生徒の声が響きわたるはずでしたが、非常事態宣言の延長を受けて、学校は引き続き五月底日までの臨時休業の最中があります。地域のみなさまにおかれましては、いかががお過ごしでしょうか。

校庭の藤棚で揺れる藤の花に寄せて

生徒たちのいない校舎・校地内を歩いていますと、いつもの風景がいつもとは違って目に映ります。

ただ広さだけを感じてしまうグラウンド。風に合わせてわずかに揺れるテニスコートネット。しんと静まりかえり、少し肌寒く感じる体育館や音楽室。ピンボールの弾む乾いた音がやけに大きく響く多目的ホール。

本来なら部活動でいろいろ声や音が聞こえてくるはずの場所に行ってみては、生徒たちがその場その場で生き生きと活動



<優しく風に揺れる藤の花>

していた様子を思い返しています。一日も早く学校が再開でき、安心した生活が送れることを願っているところです。

そんな中、グラウンドの南側にある藤棚に藤の花が見事に垂れ下がり、風に揺れている様子が目に留まりました。この藤棚は、昨年度のPTA奉仕作業において、その時の三年生の保護

者の方々を中心に剪定や整備などを行っていたいただきました。おかげをもちまして、今年、見事な花が咲きました。作業後、汗いっぱいになりました。「すっきりしたな」と藤棚を見上げたことが昨日のように思い出され、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。と同時に、この春に卒業し進学していった生徒たちが今、どうしているだろうかと思ひ浮かべたひと時でした。

生徒たちへの声かけをお願いします

長丁場が見込まれる臨時休業。

本校におきましても一番気になることは、生徒一人一人の生活状況です。毎週一回は家庭訪問を行い、連絡・依頼文書の配布や学習課題の受け渡しをしています。電話で状況を聞いたり、話をすることもありませんが、なかなか直接かわれずにあります。

生徒たちの中には、外に出て、田や畑の手伝いをしたり、ジョギングなどの運動をしたりしている生徒もいます。もし、そうした生徒を見かけられましたら、ぜひ声をかけていただき、今の状況を聞いていただいたり、励ましてやっていただければと思います。そして何かお気づきのことや、心温まるエピソードなどがありましたら、本校にそつとご連絡いただければ幸いです。



今号は、片面だけの「学校だより」になりました。やはり生徒たちの活動あつての「学校だより」であることをひしひしと感じています。生徒たちあつての学校なのです。



今号は、片面だけの「学校だより」になりました。やはり生徒たちの活動あつての「学校だより」であることをひしひしと感じています。生徒たちあつての学校なのです。